



2023年 3月 9日発行 会報第1137号

今週のプログラム

(2023年3月9日 第1137回例会)

卓話: 「選択制401kとは」

担当: 木下 健治会員

次週のプログラム

(2023年3月16日 第1138回例会)

卓話: 「運動の効果について」
～ベストセラー本からのあれこれ～

担当: 石田 夕子会員

第1136回例会 (2023年3月2日) の記録

「会長の時間」

山田 克子会長

伊藤ガバナー補佐様、本日は早くからお出で頂きありがとうございます。

先程 懇談会も終わりました。後程 卓話もしていただけるので楽しみにしています。

よろしくお願い致します。

3月に入りましたが、2月のロータリー月間テーマは「平和構築と紛争予防月間」でした。

2月24日、アメリカのニューヨークでおこなわれた国連本部での緊急特別会合で日本から林外務大臣が演説をされました。今期のロータリーのテーマである「Imagine イマジン」を思わせるような林外務大臣の「想像してみてください」と演説の冒頭に言葉を投げかけられたスピーチは様々な国が、もしも同じような事態に陥った時を想像し、ロシアの即時かつ撤退を改めて要求し平和を求める決議案への賛成を求められる内容でした。

そして3月は「水と衛生月間」に入ります。私達は長年ラオスにおける保健衛生支援活動をしてまいりました。関西医科大学看護学部教授 山本加奈子先生のお力をお借りしながら、ラオス農村部の人々への奉仕活動をしてきました。

水と衛生における支援活動も重要であるラオスの人々に千里メイプルの有志の仲間がラオスに出向き、その現状を見て国際奉仕活動を今も続けておりますが、コロナ禍や中国の影響下でのラオスの現状視察と活動をおこなう為、山本加奈子先生がまもなくラオスに出発されます。そのご報告を待って新たな支援が必要なのか皆さんと考えたいと思います。水と衛生月間に千里メイプルのホームページに映るラオスの子供たちを思い浮かべ山本加奈子先生のご報告を待ちたいと思います。

伊藤ガバナー補佐様 あと4か月ですが、どうぞお体に気をつけてください。



<お客様> RI 第 2660 地区 IM 第 2 組ガバナー補佐 伊藤 智秋様(高槻 RC)

<出席報告> 水島 洋 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 19 名

本日の会員数 10 名

(内出席免除会員 1 名)

(内名誉会員 0 名)

本日の出席率 52.63%

<ロータリーソング> 全会員

♪国歌 君が代♪

♪限りなき道ロータリー♪

<本日のピアノ曲> 近藤 美里さん

1. 早春賦

2. 春待草

3. 春よ、来い

<ロータリー財団寄付表彰>

第 5 回マルチプルポールハリスフェロー 水本 徹会員



<幹事報告>

山田 克子会長 (山本幹事代理)

1. 3月11日(土) 14:00~16:00 千里 RC 主催の無料講演会が千里ライフサイエンスセンターで開催されますが、駐車場の台数は少なくイベント利用者への利用サービスもありませんのでマイカーでのご来場はお控えくださいと千里 RC よりご連絡がありました。

<2月28日開催 WEB 臨時理事会報告>

山本 友亮 幹事

トルコ大地震災害義援金について

金 2 万円を災害支援積立金より拠出することに決定されました。

《本日のお料理》



1. 殻付き海老と根菜のスパイス揚げ
2. 燕のすりおろしスープ
3. 黒豚焼売ともち米団子
4. 牛すね肉と大根の煮込み
5. 牡蠣の豆鼓炒め
6. ご飯とザーサイ
7. 杏仁豆腐

< S A A 報告 >

木下 健治 SAA 補助

※ラオス基金

水島会員 伊藤ガバナー補佐様 本日はよろしく御願ひします。
黒川会員 急に寒くなりました。

※ロータリー財団

黒川会員 陥穽（かんせい）辻原 登の連載です。
相原会員 コメントなし

※米山記念奨学会

黒川会員 「陸奥宗光の青春」の連載です。
木下会員 伊藤ガバナー補佐 ようこそ！
相原会員・山本(雅)会員 コメントなし

※メイプル基金

水本会員 花粉症の皆様 お見舞い申し上げます。
黒川会員 日経新聞の連載が始まりました。
村田会員 ガバナー補佐ようこそ よろしく御願ひします。
高尾会員 伊藤 智秋ガバナー補佐様 ようこそ

第 2 回ガバナー補佐 公式訪問

IM 第 2 組ガバナー補佐 伊藤 智秋様

IM 2 組ガバナー補佐の伊藤でございます。

2 月 4 日 IM ロータリーデーにご参加を頂きまして、ありがとうございました。

講演がビデオレターになったことは少し残念ですが、ウクライナの現状を思いやって頂きたいと思ひます。

昨年、国際ロータリー第 2660 地区「最高の地区大会」が終わりました。

現地にてご参加いただきました皆様、YouTube 配信でご参加いただきました皆様、
ありがとうございました。

今年度も折り返しに入りました。ここで年次目標の再確認をさせていただきます。

「より大きなインパクトをもたらす」

ロータリーが一般社会に「より大きなインパクトをもたらす」為ひに公共イメージの向上を
図りましよう。先日の地区大会が新聞に掲載されました。

ロータリーに興味を持って頂くきっかけを多く作って頂きたいと思ひます。

「参加者の基盤をひろげる」

高槻 RC 会員数 47 名で、地区大会開催を担当させて頂きました。

近隣クラブの方々には「手伝いますよ」「なんでも言って下さい」と言って頂いていましたが、「助けて下さい」と言う余裕もございませんでした。

でも、終わってみればクラブ全員が「楽しかったね」という晴れやかで妙に若々しい気持ちで一致いたしました。本会議のあとの「大阪のロータリー100周年記念講演とパネルディスカッション」には外部の高校生にも参加して頂く事が出来ました。

「参加者の積極的なかわりを促す」

ネットワークを駆使し、データを集めたり、人との繋がりを広げましょう。

特に若い人や女性の参加を促進しましょう。

様々な垣根を取り払い、多様性を認め合うには、まず私達から始めたいと思います。

どうぞ、良い仲間になってくれそうな人がいれば、連携して下さい。

「適応力を高める」

誰にでも居場所が必要です。多様性、公平さ、インクルージョンを実現することは本当に大切です。でも、黙って待っていたら誰かが自分にピッタリな居場所を提供してくれるわけではございません。地区大会・分科会で千玄室大宗匠が言われていたように、皆が少しずつ気を付けるだけで違った世界が開けると思います。

ロータリーはクラブが基本です。

しかし、100 万人以上が結束して行動するのも、又、ロータリーです。

世界の平和と健康に貢献する為には、大きな力が必要です。

その為にはロータリー財団寄付、ポリオプラス基金寄付、恒久基金寄付、ロータリー米山奨学会寄付、沢山のお願いをいたしますが、主旨をご理解いただきたいと思います。

先ほど水島さんにロータリー財団寄付の件、お話を伺いまして、皆様のご尽力に感謝致します。

もし、しがらみの活動がおありでしたら、コロナを理由に切って頂いたらよろしいかと思ひます。

宮里ガバナーからは地区の委員会構成でなくても結構ですので、来期に向けて頑張っておられればよいとのことです。あと4ヶ月、よろしくお願ひ申し上げます。

*IM 第4組ロータリーデーでの谷口真由美氏の講演内容（女性30%比率の必要性やダイバーシティについて）や地区大会の裏話など、楽しいエピソードもお話いただきました。

